

新年のご挨拶



山都町長
梅田 穰

新年あけましておめでとうございます。町民のみなさまにおかれましては令和4年の新春を静かに迎えのことと拝察致します。

昨年は一昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症の猛威に振り回された一年でありました。町の三大祭りや多くの各種大会、地区の伝統ある諸行事も中止を余儀なくされたところでもあります。そのような中、延期となりました2020東京オリンピック・パラリンピックは無観客の中での開催でありましたが、世界中のアスリートの活躍は感動の連続であり、コロナ禍に苦しむ世界中の人々に勇気を与えたと思います。

5月から町医師会や関係者の協力によりワクチン接種を開始し、12月現在、接種対象者の90%以上の方が2回目の接種を終わったところですが、9月中旬以降町内での感染報告もなく安堵しているところですが、新株オミクロンの発生が報道されるなど今後を危惧しているところですが、3回目のワクチン接種を計画しておりますが、これまで同様感染防止対策の徹底をお願いいたします。

そのような中、新型コロナウイルス感染症で大きな影響を受けている事業者等を支援するため「山の都に泊まろう」キャンペーンをはじめ様々な経済対策を講じてい

るところです。「そよ風パーク」についてはレストラン・宿泊棟・道の駅の整備が順次進み全面営業を開始しており、その他の宿泊施設を含め町民のみなさまのご利用をお願いしたいと思います。

国が給付する子育て世帯への臨時特別交付金については、12月末に中学生までの子どもさんに10万円の給付を行ったところです。

さて、昨年の大きな動きとして、5月に内閣府より「SDGs未来都市」の指定を受けました。有機農業を核とした持続可能な町づくりを目指して、町民のみなさまと協議を進め2030年の山都町のあるべき姿を示して取り組んでまいります。

10月には、白糸第一自治振興会が第60回農林水産祭「むらづくり」部門において天皇杯を受賞されました。永年にわたり通潤橋・用水・棚田を守り続け、特別栽培米や都市住民との交流、生活環境の改善への取り組みが高く評価されたものと思います。他の自治振興会の目標となる嬉しい受賞です。おめでとうございます。

九州中央自動車道においては矢部インターまでの開通が令和5年度中と発表され、蘇陽・五ヶ瀬東間では測量・用地交渉等が進んでおります。矢部・蘇陽間につきましても令和3年度中のルート決定

と事業化に向けた取り組みを関係団体等の協力を得ながら進めております。今年には矢部インターの開通を見据えた「道の駅」、「通潤橋周辺整備」、「新体育館や運動公園」の整備を加速化させていきます。

熊本地震における災害復興住宅を移築し小原、原、大川、南田の町営住宅として整備し移住者の方や町民のみなさまから要望の多い住宅整備を進めております。併せて、今年中には若者向けの住宅12戸を下市に完成させる予定であります。また、空き家となっておりました矢部小教職員住宅を改修し移住者向けの一時滞在住宅として整備しました。空家対策、合併浄化槽整備、薪ストーブ設置等の環境にやさしい住宅整備にも努めてまいります。

元気な高齢者と共に活動できる社会、減り続ける児童生徒の学びの環境整備、集落営農組織の強化、災害復旧工事の早期完了、町道改良の推進等解決すべき課題は山積んでいます。

今年も、町議会と連携しながら若者も高齢者も共に明るく暮らせる町づくりを目指し着実に事業を進めてまいります。

最後になりますが、本年もウィズコロナを町全体で乗り切ってください。ばらしい寅年になることを祈念申し上げます。新年の挨拶とします。

新年あけましておめでとろございます



山都町議会議長 藤澤 和生



令和4年の年頭にあたり山都町議会を代表しまして、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

町民の皆さまには、健やかな新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、日頃から山都町議会に對しまして、温かいご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

私は、昨年の改選後の11月初議会におきまして山都町議会議長に選任されました。もとより浅学非才の身ではありますが、議員の皆さまや執行部の皆さまのお力添えをいただきながら責務を全うすべく最大の努力をしてまいる所存です。

さて、昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症の拡大により不自由な生活を強いられました。日本国内では、2回目のワクチン接種により新規感染者が減少していることに嬉しさを感じた一方、新たにオミクロン株が確認され、今後が懸念されます。

我が町のことを考えてみますと、平成28年の熊本地震、豪雨災害、その後も続く自然災害により復旧が遅れており、一日も早く復興できるよう望むところです。また、ひと度大きな災害が起き

ますと、道路の必要性が論じられます。県道矢部阿蘇公園線、九州中央自動車道の矢部蘇陽間の開通はもとより、清和地区内でのインター開設に向け今まで以上に強く要望活動を展開してまいります。

10月に農林水産業の振興に尽力した個人・団体を顕彰する第60回農林水産祭にて、白糸第一振興会が天皇杯（むらづくり部門）に選ばれました。このことは、長年の努力が実った証でもあり、農林業も盛んな本町においてはとても嬉しいニュースで地元住民はもとより、全町民の喜びでもあると感じております。

最後になりますが、新体制となった山都町議会、町民の皆さまの負託とご期待に応えるべく、様々な町の事業や課題に真摯に向き合い、誠心誠意取り組み、町民の皆さまの代表として、より暮らしやすい山都町づくりに努めてまいりたいと存じますので、さらなるご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、今年こそは大きな災害がないことを祈り、町民の皆さまお一人おひとりととってこの一年が素晴らしい年となるよう願ひ年頭の挨拶とします。



令和4年 初日の出（清和高原天文台）